

第2部 国民を守る医療制度とその財源

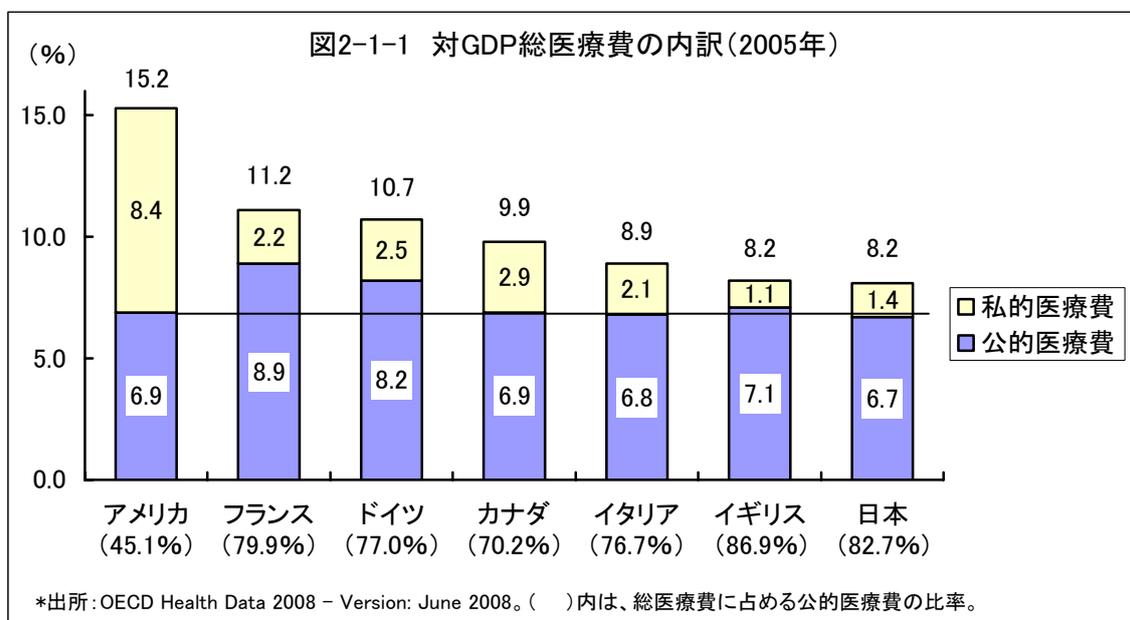
1. 医療費の現状と将来推計

(1) 医療費の国際比較

2005年³⁹の対GDP総医療費は、OECD平均8.9%で、日本8.2%であり、日本はOECD加盟30カ国中21位である(図2-1-2)。総医療費には、日本の国民医療費に相当する費用のほか、介護サービス費、予防・公衆衛生サービス費、医療管理・医療保険のコスト等を含む。

民間保険中心のアメリカでは対GDP総医療費が15.2%と高いが、G7⁴⁰からアメリカを除いた場合の対GDP総医療費も平均9.5%であり、日本より1.3ポイント高い。

日本の総医療費に占める公的医療費⁴¹の割合は82.7%であり、イギリスの86.9%に次いで高い。しかし日本では総医療費の絶対額が小さいので、日本の対GDP公的医療費は6.7%とアメリカよりも低くなっている(図2-1-1)。



³⁹ 2006年データも公開されているが、30カ国揃わないため、2005年データで示した。

⁴⁰ 日本、ドイツ、アメリカ、フランス、イタリア、カナダ、イギリス

⁴¹ 社会保障制度のもとで、国や地方の公的資金が負担する医療費。